

国語科 中学校2年

単元名 生きる姿
「走れメロス」
光村図書「国語2」

単元の流れ（全8時間）

【第1時】

主な学習内容

- ・音声CDの音読を聞く。
- ・初発の感想を話し合う。

【第2・3時】

主な学習内容

- ・話の展開を読み取る。
第1時…発端 ～ 王との対話
第2時…試練を越えて走る ～ あきらめ
第3時…復活 ～ 大団円

ディベート説明用紙は
こちら

【第4・5時】

主な学習内容

- ・ディベートの説明
- ・テーマと担当の提示
- ・ディベートの準備（グループ討議）

CLICK

「活用」の力育成のために

- ・グループで、自分たちの立場の根拠となることを作品の中から探し、根拠としてまとめていく。①

【第6時】（本時）

主な学習内容

ディベートA 「王ディオネスは悪者か？」

- ・生徒の相互評価及び判定
- ・教師の評価とポイントの解説
- ・生徒の振り返り

CLICK

生徒の相互評価用紙は
こちら

【第7・8時】

主な学習内容

ディベートB 「メロスとセリヌンティウスは本当の友情で結ばれているか」

ディベートC 「メロスは善人か」

「活用」の力育成のために

- ・ディベートでは自分のグループの意見を、自信を持って話す。②
- ・相手の意見をメモするなどして正確に捉え、反論や批判の観点を的確につかむ。③

ディベートをジャッジするだけでなく、自分の考えがどう深まったかを整理する。

単元構成の意図

- ・登場人物の生き方、考え方を捉え、自分の考えをもつ。
- ・ディベートの基本的な手法を学び、論理的に発言するなど討論の在り方を習得する。
- ・視点を定めて主体的に作品を読むことで、作品の理解を深める。
- ・ディベートによって、立場を明らかにして、自分の考えを適切に伝えたり、相手の考えを積極的に聞いたりする力を養う。
- ・様々な立場や視点からの意見を聞き、それを評価し熟考することで、自分の考えをいっそう深める。

「活用」の力を育てるポイント

- ①一斉授業で読み取ったことを土台に、自分の立場に必要な根拠を積極的に探し、組み立てる。
- ②自分のグループの意見を相手に伝わるように論理的に話す。
- ③積極的に相手の意見を聞いて、批判的観点の意見や自分の意見の補強などに関連付ける。
- ④討論を聞いて、論理性や発言の在り方について評価する。

HOME

本時の流れへ

評価問題